

## 堀内光雄総理特使のパキスタン訪問

平成14年5月8日  
外務省南西アジア課

堀内光雄総理大臣特使（日本・パキスタン友好議員連盟会長）は、日本・パキスタン国交樹立50周年記念日（4月28日）に合わせ、パキスタンを訪問したところ、概要以下のとおり。なお、堀内特使には、日本・パキスタン友好議員連盟のメンバー5名が同行した（リスト別添（当省担当者2名同行））。

### 1. 日程

4月28日	国交樹立50周年記念式典出席
29日	サッタール外務大臣との懇談、 <u>国交樹立50周年記念シンポジウム出席</u> 、日「パ」投資協定発効のための公文交換式典出席、ダ우드商工大臣との懇談、 <u>ムシャラフ大統領への表敬</u> 、サッタール外相主催晩餐会
30日	草の根無償署名式出席、ペシャワール・カイバル峠視察
5月1日	カラチ視察、ジンナー廟献花、カラチ日本人代表との懇談

- (1) 堀内特使は、ムシャラフ大統領を表敬し、小泉総理の親書を手交したほか、サッタール外相及びダ우드商工大臣をはじめとするパキスタン政府関係者と、国交樹立50周年を契機とした今後の二国間関係の強化を中心として、幅広い意見交換を行った。
- (2) 堀内特使は、日本大使公邸において行われた国交樹立50周年記念式典に出席。パキスタンよりは、サッタール外相が主賓として出席したほか、アジズ蔵相をはじめとする総勢500名を越えるパキスタンの政財官関係者及び外交団が出席。また、記念式典においては、両国において発行された記念切手の交換式が行われた。

### 2. 概要

- (1) 堀内特使は、大統領信任国民投票（4月30日）の直前の29日にムシャラフ大統領を表敬し、穏健且つ近代的なイスラム国家としてのパキスタンの安定と発展に対する我が国の支持・支援を伝達。ムシャラフ大統領は、「民主化のロードマップ」に従い、10月の選挙を通じた民主政治の実現を確約する旨述べると共に、引き続き改革を継続する旨強調。
- (2) 堀内特使とムシャラフ大統領は、今後の二国間関係の強化の重要性で一致。ムシャラフ大統領は、先般の訪日及びわが国の対「パ」協力に対する深甚の謝意を述べると共に、小泉総理に対してパキスタン訪問を招請。
- (3) この他、サッタール外相と、核軍縮・不拡散や民主化を含む広範な事項に関して、また、ダ우드商工大臣とは、二国間経済問題に関する意見交換を行った。
- (4) 堀内特使の今次訪問は、現地新聞報道及びテレビ報道でも広く取り上げられるなど、わが国に対する関心及び期待感の高さを伺わせた。

(了)

別添

**一行リスト（日本・パキスタン友好議員連盟メンバー）**

堀内光雄 衆議院議員（総理大臣特使）  
佐藤観樹 衆議院議員  
真鍋賢二 参議院議員  
佐々木知子 参議院議員  
河村建夫 衆議院議員  
釘宮磐 衆議院議員

（了）